

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	公益財団法人千葉交響楽団	県所管課	環境生活部 県民生活・文化課
代表者	理事長 榎引 宣子	電 話	043-223-2406
所在地	千葉市中央区市場町11番2号		
電 話	043-222-4231		
設立年月日	昭和60年4月16日		
ホームページ アドレス	<a href="http://chibakyo.jp/">http://chibakyo.jp/</a>		
事業内容	演奏会の開催 音楽鑑賞教室の開催 音楽に関する講座の開設 ほか		

1 出資等の状況(H29.4.1現在)

(単位:千円)

資本金(又は出捐金)	65,300
------------	--------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	25,000	38.3%	1	
太陽堂印刷	11,000	16.8%	2	
千葉銀行	4,000	6.1%	3	
千葉市	1,500	2.3%	4	
船橋市	1,500	2.3%	4	
千葉興業銀行	1,500	2.3%	4	
東京電力千葉支店	1,500	2.3%	4	
東京ガス千葉支店	1,500	2.3%	4	
市川市	1,000	1.5%	9	
松戸市他12者	16,800	25.7%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H29.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体		
	県		
	市町村		
	国又は政府系機関		
	民間法人		
その他			

### 3 財務状況

#### (1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	26年度	27年度	28年度
総資産	84,238	79,190	95,510
負 債	14,705	9,938	16,694
(うち有利子負債)	0	0	0
純資産	69,533	69,252	78,816
累 積 損 益(利益剰余金)	4,233	3,952	13,516

#### (2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	26年度	27年度	28年度
総 収 入 (＝売上高＋営業外収益＋特別利益)	175,570	170,669	181,366
経 常 損 益	△2,958	△1,981	9,564
当 期 損 益	△2,958	△280	9,564
減価償却前当期損益	△2,916	△238	9,564

### 4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	26年度	27年度	28年度
借 入 金 残 高	0	0	0
うち県からの借入金残高	0	0	0
うち県以外からの借入金残高	0	0	0
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高	0	0	0

※一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 純資産⇒正味財産合計

利益剰余金⇒一般正味財産

〈損益計算書〉 損益計算書⇒正味財産増減計算書

総収入(＝売上高＋営業外収益＋特別利益)⇒総収入(＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額)

経常損益⇒当期経常増減額

当期損益⇒当期一般正味財産増減額

※累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

## 5 県の財政支出の状況

### (1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	26年度	27年度	28年度
委託料	特別支援学校巡回コンサート 伝統芸能・洋楽ふれあい体験事業	10,451	13,652	13,452
補助金・交付金・負担金	県民の日(演奏会事業) 音楽鑑賞教室事業負担金 県民芸術劇場事業負担金 運営費補助	57,613	56,493	56,949
合計		68,064	70,145	70,401

### (2) その他

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	26年度	27年度	28年度
利子補給		0	0	0
税の減免額		0	0	0
出資金		0	0	0
貸付金		0	0	0
上記以外のもの	報償費 (県民の日 器楽クリニック事業)	0	0	250
合計		0	0	250

### (3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	26年度	27年度	28年度
委託料のうち再委託したもの		0	0	0
再委託のうち入札によるもの		0	0	0
再委託のうち随意契約によるもの		0	0	0

## 6 役職員の状況

### (1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	27年度	28年度	29年度
常勤役員数	1	1	1
うち県退職者	1	1	1
うち県派遣職員	0	0	0
常勤職員数	16	14	15
うち県退職者	0	0	0
うち県派遣職員	0	0	0

### (2) 役職員の平均年収等の状況

項目	27年度	28年度	29年度
役員数(県派遣又は県OB)	1人(1人)	1人(1人)	1人(1人)
役員平均年齢	※	※	※
平均年収(千円)	※	※	※
職員数(県派遣又は県OB)	16人(0人)	13.5人(0人)	15人(0人)
職員平均年齢	51歳	49歳	53歳
平均年収(千円)	3,373千円	3,338千円	3,150千円

- ① 対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)
- ② 役職員数は実人員を記入してください。
- ③ 平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

#### ※実人員の考え方

- ・4月に役員が4人いて、年度途中で2人交替し、年度末に4人であった場合の実人員は4人
- ・4月に役員が5人いて、10月から1人減り、年度末に4人であった場合の実人員は4.5人

※平成29年度の平均年収については推計となる。

## 7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	関与縮小
改革方針(概要)	依頼演奏会事業や寄附金等の獲得のための営業活動を積極的に実施し、収入源を増やすとともに、徹底した経費の見直しにより経営基盤を確立し、県依存型経営から速やかに脱却する。
取組状況	<p>「経営改善計画」(H28～H32)の実施状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽監督を配置(H28～)⇒オーケストラ体制の充実及び営業力強化</li> <li>・営業活動を強化(H28～)</li> </ul> <p>28年度は上記の活動の結果、定期会員数の増加、定期演奏会の入場者数増加となった。さらに、音楽鑑賞教室は前年比6公演増加、依頼演奏会管弦楽公演は4公演増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の更なる質の向上を図るため、楽団員の拡充を行っている。</li> <li>今後楽団員が一体となり良質な音楽提供に努めていく。</li> <li>・経営改善計画に基づき、新規依頼演奏会の獲得、演奏会入場者数の増加や会員の増加など、収入の確保に向けた取り組みを進め、経営基盤の安定化等を図っていく。</li> <li>・音楽監督が就任したことにより、県民から千葉交響楽団の活躍への期待が高まっていることから、今後も千葉交響楽団を活用し、県内の文化芸術団体等と連携し、多様な音楽文化を提供していく。</li> </ul>
その他(特記事項等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の皆さんからより親しみをもっていただき、呼びやすい簡潔な名称とするため、平成28年10月から「千葉交響楽団」に変更した。</li> <li>県民が誇りとするような「おらがまちのオーケストラ」を目指していく。</li> <li>また、県内の合唱団や吹奏楽等と連携した取組を行っていく。</li> </ul>

\*平成28年4月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。